

絶対大丈夫という安心

水害防災について



うシミュレーションにより予測したもの聞いています。

議員 逃げるマップをつくり、逃げ遅れゼロということをやっているが、なぜ住民だけに負担をかけるのか。そうではなく、これだけの流量があっても大丈夫だという数値を広く市民に知らせていくのが当り前じゃないかと思うがどうか。

道路建設課長

河川整備計画に記載する数値は、概ね30年を目安にした計画で、流量や雨の多さに応じて随時見直しすると記載がある。

市長

先の災害と同じものが来た場合でも堤防を越すことがない鬼怒川緊急対策プロジェクトというふうを確認している。計画高より超えた場合、溢水した場合、経過時間など、その数値をもとに計算したうえで、のマイタイムラインであり、市民への周知と危機感、備えをすることが最大の策と考える。

議員

今後、改めて要求するところだが、数値の問題は市民が安心できて、みんな考えて、災害に対する探究するというのが求められていると思う。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

平和首長会議の一員として

平和行政について



など、諸問題の解決と世界の恒久平和の実現に向けて加盟都市と連携を図り、平和運動の推進に取り組みたい。

市長

平和首長会議の一員として、世界の恒久平和、これは誰もが望むところであるので、しっかりと取り組んでいきたい。

議員

平和首長会議の一員として、今の北朝鮮の動きに対して、何らかの意見なり出すべきだと思ふ。市議会としても、意見書なり決議なりを上げたいと思っている。また、公室長から答弁があった非核平和都市宣言の幕を掲げていただいた。この宣言文を広報に掲載して欲しい。

市長公室長

掲載文章については、確認をし、市民への啓発を図る意味でも掲載したいと考える。

議員

7月に国連で、核兵器の使用や開発を違法とする核兵器禁止条約が採択された。非核平和都市宣言の精神にのっとり、庁舎ロビーに「被爆者国際署名」を置いていただきたい。

秘書課長

庁舎管理の関係部署と協議し、進める方向で検討したい。

市長公室長

8月29日に朝6時頃、けたたしく鳴る携帯、防災無線のサイレン、北朝鮮からミサイルが発射され、さらに9月3日には、核実験を強行した。特に近い日本や韓国の平和と安定にとつて重大な脅威である。平和を脅かす動きのある中で、平和首長会議の一員としての役割を伺いたい。

議員

同会議の目的でもある、核兵器の廃絶の市民意識を喚起し、人類の共存を脅かす飢餓や貧困



堀越 道男 議員

石川 栄子 議員